

令和7年 年頭のごあいさつ

綾部市長

小南 孝也



明けましておめでとうございます。よき初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

ご告知のとおり昨年は、元日に能登半島地震が発生しました。また近年の地球温暖化による異常気象は、我が国にも毎年のように甚大な自然災害を発生させており、9月には、能登の被災地に追い打ちをかけるかのように豪雨災害をもたらしました。改めて、被災された方々にお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

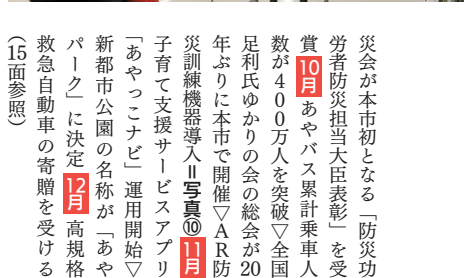
本市では、昨年は大きな災害に見舞われることはありませんでしたが、中山間地の自然災害のリスクはどれも同じであり、安全・安心のまちづくりを加速化させる必要があることを、改めて認識したところ です。

昨年11月には、あやテラスがオープン1周年を迎えました。想像していた以上の入館者数であり、誠に感慨深いものがあります。今後も施設の更なる充実を図り、本市のランドマークとして、周辺のあやベグンゼスクエア、市民センター、北部産業創造センター、あやベ健康プラザや商業施設とともに都市機能の一翼を担い、駅周辺のにぎわいづくりに貢献できるものと期待しているところです。

さて、我が国の人口減少は今後も避けられず、地方の自治体においては、従来の公共サービスを自前で提供することが困難になることが予想されます。また、経済社会構造の変化や住民ニーズ・価値観の多様化、災害の頻発化・激甚化など、複雑多岐にわたる行政課題に対して、人口減少を見据えた持続可能なまちづくりをしていかなくてはなりません。社会情勢を見極めながら最適値を見出し、財政規律を保ち、バランスのとれた市政運営に努める所存です。

本市は本年、市制施行75周年を迎えます。歴史の積み重ねの上に今があります。未来は現在の連続であり、我々の現在の選択が未来を切り拓いていきます。ふるさと綾部の将来がより良いものとなるよう市政のかじ取りをする所存ですので、引き続き、皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

結びに、皆様のご多幸とご健勝、内外の平和と安寧をお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。



広報紙で振り返る一

令和6年の綾部市政

【市民プールがリニューアルオープン】7月、大島町の市民プールがリニューアルオープン。幼児用プールには滑り台を新設しました。写真①。

【常熱市に公式派遣】7月、中国・常熱市との友好都市締結35周年を記念し、岩本正信副市長をはじめとする公式訪中団が、市民団とともに常熱市を訪問しました。写真②。

【全話文化ディスプレイを導】8月、障害者支援課と市民・国保課窓口にて、会話を文字化して表示する透明ディスプレイを設置しました。写真③。

【全国茶品評会で産地賞に】第78回全国茶品評会のかぶせ茶の部門で、本市が2年ぶり8度目の産地賞を受賞。11月2日の表彰式で、優勝旗を受けました。写真④。

【あやテラス1周年】11月、あやテラスがオープン1周年を迎えました。17日には、あやっこひろばの利用者数が5万人を突破。記念セレモニーを実施しました。写真⑤。

【その他の出来事】

1月 能登半島地震被災地へ職員派遣開始▽コカ・コーラボトラーズジャパン、遠東石塚グループ、ゼンパットとペットボトルの水平リサイクルに関する協定を締結。2月 国保料12年ぶりの引き上げ答申。3月 山家地区交通空白地有償運送事業「山タク」開始▽市文化・スポーツ表彰式を初開催▽綾部市史の続編を発行。4月 友好都市・中国常熱市の卓球交流団が来綾▽市地域情報アプリ「アライフビジョン」運用開始▽市内中学校の部活動の地域移行を試験的に実施▽あやバスダイヤ改正、中学生以下運賃無料に。5月 あやベグンゼスクエア10周年。写真⑥。6月 あやベ・日東精工スタジアムのスコアボード改修完了。写真⑦。▽成年後見支援センター「こうけん・あやべ」を開設。7月 高齢者等ごみ出し支援員別収集事業を開始▽大塚製薬と包括連携協定を締結。8月 下原町の齋神社が重要文化財に指定。写真⑧。▽東八田分団が府消防操法大会で準優勝。写真⑨。▽飛び立て！中学生海外派遣事業で5年ぶりに海外へ。9月 下市自主防



主人公アリス役の馬場ふみかさん（左から2人目）、幼なじみの高校生を演じた佐藤瑠雅さん（左端）、ドラマオリジナルキャラクター「林田哲次」で出演するジャンプハットてつじさん（右端）。佐藤さんは、綾部高校の制服姿で登場しました

市民もエキストラ出演
ドラマは、キナミブンタさん原作の漫画を実写化。あやべ地域交流大使のてつじさんから誘致の提案を受け実現しました。10年ぶり

市内をロケ地として撮影されたドラマ「アリスさんちの囲炉裏端」が絶賛放送中です。昨年12月16日には、あやテラス・ホール（青野町）で完成披露試写会が開催され、主演の馬場ふみかさんと佐藤瑠雅さん、ジャンプハットてつじさんが登壇しました。

ドラマ「アリスさんちの囲炉裏端」 出演者3人が試写会に登壇！

絶賛放送中

放送情報

- ・BS-TBS 毎週火曜日午後9時～
 - ・KBS京都 毎週土曜日午後11時30分～
- ※放送時間は番組編成の都合などにより変更になる場合があります。

配信情報

- ・Lemino（先行見放題独占配信）
- ・TVer（見逃し配信）
- ・スマートフォンにアプリをインストールするなどして視聴できます。



1月14日に放送された第2話のワンシーン（©キナミブンタ／集英社・「アリスさんちの囲炉裏端」製作委員会）

市民に聞く 新年の抱負

明けましておめでとうございます。巳年に生まれた、年男・年女の皆さんの新年の抱負をお届けします。



大会で一勝！

級を上げる

森本らん さん（上原町）
2013（平成25）年生まれ



丸山光希 さん（味方町）
2013（平成25）年生まれ

ベンチプレス
100kg



江本圭吾 さん（淵堀町）
2001（平成13）年生まれ



小林昌宏 さん（新庄町）
1965（昭和40）年生まれ



岩上文子 さん（故屋岡町）
1953（昭和28）年生まれ



本田隆貴 さん（上延町）
1977（昭和52）年生まれ

健康で良い1年を
過ごせますように



ホアン スアン フン
HOANG XUAN HUNG さん
（上延町）
1989（平成元）年生まれ

いっぱい楽しいことを
したい!!



レー ホアン トゥオン
LE HOANG THUONG さん
（井倉新町）
1989（平成元）年生まれ

素敵な出会いが
ありますように



グエン ブ ティ イエン
NGUYEN VU THUY DIEM さん（青野町）
1989（平成元）年生まれ

健康第一で
ボランティアを頑張る！



鎌部俊夫 さん（五津合町）
1953（昭和28）年生まれ

ヘビー級の幸せが訪れますように!!





2月17日～3月17日

令和6年分の市・府民税の申告や、所得税の確定申告は2月17日から3月17日まで、市役所まちづくりセンターで受け付けます。期限内の申告をお願いします。(記事ID2884)

受け付けは予約制

市・府民税の申告が必要な人は、令和7年1月1日現在で本市に住所があり▽令和6年1月1日～12月31日に所得があった人▽所得税の申告が不要な公的年金受給者等で、配偶者控除等を追加する人や公的年金等のほかに20万円以下の所得があった人などです。市役所での申告には、事前予約が必要。ウェブ予約は2月1日(土)から、電話予約は2月3日(月)から受け付けます。希望日の前々日(土・日曜日、祝日除く)までに申し込んでください。

ウェブ予約

2月1日に公開する



予約フォームから申し込み。

電話予約 受付専用ダイヤル ☎ (42)1261 (平日午前9時～正午、午後1時～5時) へ。

申告や無料相談の詳細は、10面とお知らせ版をご確認ください。

ネット申告がおすすめ

所得税等の申告は、インターネットからが便利。パソコンやスマホなどを使って、国税庁ホームページの「確定申告書作成コーナー」から、画面の案内に従って入力するだけで簡単に作成できます。マイナンバーカードとスマホがあれば、e-Taxで送信も可能。さらに、マイナンバー(マイナンバーカードを使ってオンラインで行政手続き等ができるサイト)と連携すると、各種控除証明書等の情報が該当項目に自動入力されます。詳しくは、国税庁のホームページをご覧ください。

シリーズ 人権を考える

人権を考えるセミナー

11月20日に開催された第4回人権を考えるセミナーの内容をお知らせします。

「たわいもない一言に潜む差別の芽」

立命館大学国際関係学部准教授 金友子さん

見えにくい細かい攻撃

講師の金さんは、日本生まれ日本育ちの在日3世。これまでの自身の経験を交え、無意識・無自覚による差別「マイクロアグレッション」について講演しました。

金さんは、自己紹介で自分の名前を伝えると「日本語お上手ですね」「いつ日本に来たの」とい

外国人なのに日本語上手ですね

女性なのにすごい



う言葉を何百回と聞いた。その度に傷つき、心の痛みが蓄積された」と体験談を語り「大きな社会問題となっているヘイトスピーチなどの『見える』差別とは異なり、マイクロアグレッションは日々のささいな言葉や行動で繰り返される。可視的ではないため問題視されにくい、日常に潜む差別」と説明。こうした差別をなくしていくためには「問題点を相手に伝え、気付いてもらうことが必要」と訴えました。

日常生活や会話の中の何げない言葉が、結果として相手を傷つける場合があります。大切なのは、コミュニケーションを取る相手を尊重し、偏見や先入観を捨てて一人ひとりと接すること。そして、相互理解を深め問題を指摘し合える関係を築くことではないでしょうか。



あれから30年

今年もまた1月17日の朝を迎える。1995年の大震災当時、前職の大阪勤務で、住まいは西宮市夙川。ただしこの日は前日から九州出張に出かけていて、自身は直接の揺れを経験していない。急遽予定を変更し帰路を急いだ。幸い朝一番の便は飛んでいて伊丹までは戻れたものの、空港は大混雑。自宅までの道中も、横倒しになった阪神高速の橋脚や形を無くした家屋を横目にまさに「ゴー＆バック」の繰り返しであったが、それでも勇敢なタクシードライバーに恵まれた4時間かけて西宮北口に辿り着いた。

家族の声は九州からほんの瞬間だけ繋がった携帯電話で確認していたが、元気な姿を目にした時の安堵を忘れることができない。しかし家の中は家具が倒れ、割れた食器が散乱しており、子ども部屋

のベッドの上には本棚が倒れている始末。虫の知らせか子どもたちは私が出張中のため親の寝室に移って寝ていたとのこと。難を逃れたが、そうでなければと考えると身震いする思いだった。

時の経過とともに甚大な被害状況、そして近隣の親しかった人や取引先等の不幸が判明し涙した。震災直後、家族は東京に一時避難したが、学校が始まると呼び戻したものの、復旧していたのはほんのうじて電気だけ。水は週末に綾部から運び、電気ポットで沸かした湯で体を拭き、カセットコンロで炊き出した。連日キャンプのような生活は今となっては懐かしもあるが、水やガス等のライフラインが復旧するまでの2カ月は本当に大変だったことを鑑みるに、今回の能登の復旧の遅れが懸念される。

あれから30年。今も震災直後の被災地の光景は脳裏に焼き付いている。また未曾有の困苦を共にした職場の同僚はまさに「戦友」として生涯の付き合い合っている。それでも少しずつはあるが人の記憶は薄れていくものだ。残しておきたい記憶も、残したくない記憶も、風化には抗えないのか。

山崎善也(綾部市長)

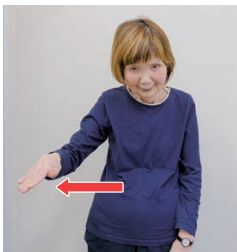


今月の手話

平成



右手の甲を上にして指先を前に向け

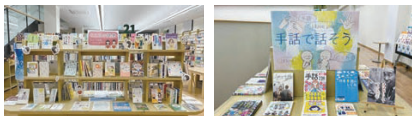


水平に右へ動かす

協力：京都府聴覚障害者協会綾部支部

図書館ほんでほんで通信mini

1階の展示棚＝写真左＝、2階ギャラリー＝写真右＝では、毎月いろんなテーマで本を紹介。今年もぜひ、図書館でたくさんの本に触れませんか？



テーマ「長いものは、めでたい!」

「巳年」のへびにちなんで、長いものや長生きに関連する本、へびが登場する本などを50冊展示!

期間 1月26日(日)まで

場所 1階文学の森展示棚

テーマ「みんな大好き☆給食を知ろう!」

給食に関連する本を50冊展示予定! 給食の歴史が分かるパネル展示も行います。

期間 1月18日(土)～2月16日(日)

場所 2階ギャラリー

<問い合わせ> 図書館 ☎(42)6980 ☎(42)4570